

パパたちが“つながる”シリーズ～他地域の八王子市親子つどいの広場のパパ達～

各パパ会代表より、お言葉をいただきました！！

今回は、Cache-PAPA1周年を記念して、各広場パパ会代表より、お言葉をいただきました。

子育てについて思うこと、各広場パパ会としての目標等、おおいに語っていただきました。原田パパ・足立パパ・下浜パパ、本当にありがとうございました！！

SUN・パパ代表 原田 竜二パパ・真結子(まゆこ)ちゃん(1歳10ヶ月)【八王子市親子つどいの広場西八王子パパ会】

『僕がパパ会パパになった理由』

付き合いだてのころ、奥さんが「結婚したら、・・・」とか「子どもができれば、・・・」とか冗談で口にする、マジメに「考えられない」と僕は答えていました。その頃僕は、残念ながら結婚も親になることも、まるで良いイメージがわかかなかったのです。奥さんはそのうち結婚も子どもも話題にしなくなりました。2人は大学生でした。社会人になり、奥さんと一緒に生活を始め、周りでも結婚や子どもの話題がちらほら聞こえてくるにつれ、僕はなんだか結婚や子どもがいいものに思えるようになってきました。漠然と子どもが欲しいという気持ちのもと、奥さんに改めて求婚しました。

晴れて夫婦になると、すぐに赤ちゃんを授かりました。その時はとても嬉しかったです。けれども、つわりで常に車酔い状態の奥さんの世話がはじまると、僕の中には、『父親になる不安』がむくむくと大きくなってきました。

「夜泣きで睡眠不足」、「自分の時間がとれない」そんな声先輩から聞こえてきました。育児ってストレスがたまりそう…。僕は自分がストレスに弱いを知ってるのでこわくなりました。

仕事も多忙の中、つわりで夜中に目覚める奥さんにミルクを温めたり、食べられそうなものを作ったりの毎日で僕は頑張りすぎたらしく、風邪をこじらせ入院してしまいました。退院すると、奥さんのつわりは明けていて、別人かのように安産のために色々張り切っていました。僕に対する健康管理にも熱が入りました。僕は僕で、『良い父親像』を模索すべく、奥さんの希望で妊婦検診に同伴したり、市の両親学級に参加しました。

奥さんと違ってお腹にいないので、子どもの存在にいまいち実感がわかりません。エコーで見て初めて、本当に赤ちゃんがいる、と思いました。「お腹に呼びかけていると生まれた後になじんでくれやすいらしい」という話をきけば毎日話しかけました。どうにか『父親の気持ちになる』べく色々やってみました。どうしたら良い父親になれるのだろう。とりあえず図書館で本を借りたりもしました。

ところが、妊娠後期に入る直前に奥さんの子宮口があいてしまい、10 駅先の総合病院に緊急搬送になりました。奥さんは点滴でつながれて、約2ヶ月のベッド上安静の生活になりました。その間、破水の危険から推定1kg 半に満たない体重の状態帝王切開の可能性があり、不安な日々もありましたが、なんとか正期産までもちこたえ、ふたりで出産の日を迎えました。赤ちゃんを迎えるために最良のことを何回も迷い、決断する場面がありました。

お腹にいた我が子の頭が出てきた時は感動しました。ふたりで語りかけて、会う日を心待ちにしていた真結子がついに僕の目の前に現れたのです。産声をあげました。真結子の目は初めから開いていて、見えているように感じました。

僕は計測などに付き添い、お腹に話しかけていたように、真結子に話しかけていました。真結子はじっと僕を見ていました。

カンガルーケアを希望していた奥さんのもとに真結子と戻ると、なんだか様子が変わりました。

奥さんの産道から、出血が止まらないとのこと。カンガルーケアは中止になり、奥さんは緊急手術になってしまいました。三人はバラバラになり、事態がよくわからないまま輸血の場合の同意書を書かされて、真結子が生まれた喜びが奥さんを失うかもしれないという緊張が変わりました。幸いに奥さんは輸血レベル直前で出血部位を発見、縫合してもらって、その日の夜には目を覚ましました。ほっとしました。

おかげで僕は生まれたての真結子のかわいさに心から感動できました。面会にいくと写真を撮りまくっていました。

2ヶ月のベッド上安静、常人の半分の値のド貧血状態から、奥さんは乳飲み子の母としてスタートしました。真っ直ぐ歩けない、すぐ疲れる、3キロの真結子を抱き上げることも一苦労、当然、周囲の助けが必要です。

僕はお風呂やおむつ、着替えに散歩など授乳以外のことは全てできるようにしました。あんまり真結子がかわいくて、自分が授乳が出来ないのが残念で、乳の出がよい奥さんが搾乳したのをほ乳瓶であげさせてもらったりもしました。

奥さんは2ヶ月里帰りして、産前産後僕は約4ヶ月、週末通い婚でした。

八王子に奥さんと真結子が戻ってきてからも、しばらく奥さんは寝たり起きたりを真結子と一緒にする日々でした。

八王子に頼れる親類、知人はほとんどおらず、僕が仕事の日中ひとりの奥さんは助けを求めるように、行ける範囲のつどいの広場に顔をだしました。それでも体力が回復せずベビーカーや抱っこで移動が大変だった為、真結子が本格的に動くまでは広場もぼちぼちの回数でした。

僕は休みの日は奥さんを休ませるために、真結子を外に散歩に連れ出しました。動き始めると、広場にもつれていきました。

「広場にパパ一人で来て偉いね」と良く言われるのですが、僕は家庭の事情、なりゆきで広場の常連さんになったので、偉くもなんともありません。僕が積極的に育児をしないと、奥さんも真結子も明らかに健康を保てないというのが一番の動機でしたから。僕は人生の最優先事項を奥さんと真結子との生活にすると、決めていました。真結子と生活すると、他の赤ちゃんや親の様子にも興味がわき、広場は面白かったです。

広場だけでなく、公衆の場でも視点が変わりました。小さな子どもとそばにいる大人が気になります。真結子を抱っこやおんぶしていると、今まで接点がなかった年齢層の人が話しかけてきてくれました。どの人も笑顔で、真結子と僕らを祝福してくれました。歩いているだけで祝福される経験は初めてでした。子どものすごい力を感じました。

そして、また偶然誘っていただいたパパのしゃべり場の立ち上げですが、奥さんは僕に「表に立つのは向いてないからやめなよ」と言っていました。なぜだか僕は聞きませんでした。しかし、いざ始まってみると、奥さんの言うとおりの苦手意識を感じるものの連続でした。正直、大変な気持ちになることもあります。

でも僕はなんだかやってみたかったのです。生まれてきた可愛い真結子をこの手にして更に真結子にとって『良い父親になりたい』気持ちがふくらみ、喜びだけでなく『不安や迷いを父親として分かち合える場』が僕自身あったらいいなと思ったからかもしれません。

そして今、真結子を通して沢山のパパたちと出会えて幸運だと思っています。

今は子育てができない生活が考えられない日々です。真結子が奥さんのお腹から出てくるまでは不安だったことも様々ありましたが、全て忘れてしまいました。一人で考えていても父親になれません。真結子がくれる様々な出会いが、僕を『父親』にしてくれます。だから、真結子がいつか僕から離れていくまで、真結子に寄り添って父の醍醐味を味わいたいと思います。

でも、離れていくなんで、ヤーダー！想像したくもない！

ゆめばば代表 足立 純一パパ・望（のそむ）君（1歳7ヶ月）【八王子市親子つどいの広場夢キッズパパ会】

はじめまして。の人がほとんどですよ。

親子広場夢キッズでのばばのしゃべり場『ゆめばば』の代表をやらせていただいている足立です。

まずはCache-PAPA 1周年、おめでとうございます！本当にすごいです！

貴重な紙面を割いていただきながら、稚拙な文章で申し訳ありませんが、私がしゃべり場に関わるようになるまでのいきさつと、私の思いの一端を書かせていただきました。

『私としゃべり場』

親子広場に行くようになったのは、奥さんの勧めからでした。初めは「ママばかりで行きづらい」、「恥ずかしい」と思い、腰の重いパパでした。そんな私を、広場大好きパパに変えたのは、広場で無邪気に寄ってくるこどもたちと、やさしくフレンドリーに接してくれるママさんたちでした。こどもたち、ママさんたちにきっかけをもらってからは、広場には、「色んなこどもと

遊ぶことができ、こども1人1人の個性に気付ける」、「自分より圧倒的に情報通なママさんたちと、育児談義、情報交換できる」など、楽しいこと、有意義なことがいっぱいあると思うようになりました。「もっとパパたちも広場に来ればいいのに…」と思うようになったのはその頃からです。でも思っただけで、何も行動できないでいました。

広場で偶然、田所さんとお会いしたのは、そう思うようになってしばらくたった頃でした。お会いしてすぐ、田所さんの熱い思いに共感すると同時に、「なんてすごい人だ」と思いました。その後、「田所さんの活動の一助となれば」と思って参加していたしゃべり場ですが、あれよあれよと、田所さんの口車？（笑）にのせられ、しゃべり場の代表になっていました。

きっかけひとつで、人は変わるものですね。広場では、多くの人から、多くのきっかけをもらっています。

『今、ゆめぱぱ代表として思うこと』—ゆめぱぱのコンセプトは「笑顔」と「つながり」—

- ・ **パパが集まり、こどもの、奥さんの笑顔を守る**
- ・ **集まるパパが、広場にいる全てのこどもを、ママを笑顔にする**
- ・ **パパがつながる→家族がつながる→地域がつながる→笑顔があふれる**

これらが実現できるよう、ステップアップしていければと思います。皆様今後とも、よろしくお願いいたします！！

大和田パパ代表・Cache-PAPAメンバー 下浜 範大 パパ・航太（こうた）君（3歳6ヶ月）/悠太（ゆうた）君（1歳1ヶ月）【八王子市親子つどいの広場大和田 パパ会】

「パパと子育て」

私は、家事が苦手です。はっきりいって、世間でいう「イクメン」とは程遠いイメージだろうと思う。そんな自分が、なぜパパの集まりに参加しようと思ったのか？

それは、自分なりに「父親として、子供と、家族とどう向き合うべきなのか」「仕事と育児の両立、ワークライフバランスについて、考えたい」と思ったからです。また同じように「子育てに対して悩んでいる」というパパがいれば、実際に話し合い、情報共有できればいいなという思いもありました。

現在、カシュパパの一員として、大和田つどいの広場でもパパのしゃべり場に参加していますが、話をし、パパ友ができていくなかで、自分なりに答えが見えてきたような気がします。単純に、「楽しい」ということもあります。

これからは、パパも育児に関わる時代。

家事が苦手でも、子供を外に連れ出し、子供と色々な体験をすることで共に成長していけたら、父親としても成長していけるんじゃないかと私は思っています。

いろんな考え方があると思いますが、それを話して「こんな考え方もあるんだ」と思えるだけでも、良い刺激になると思います。

こんな自分でも、カシュパパの一員として、大和田パパの呼びかけ人として、パパのネットワークを広げていきたいと思っています。

興味のあるパパは、ぜひ気軽に参加してもらいたいと思います。

<各広場 8月パパのしゃべり場予定> *それぞれに特徴のあるパパの集まりを開催しています。足を運んでみて下さいね。

8月6日『檜原』/6日『大和田』/20日『西八王子』・『夢キッズ』/27日『堀之内』

※各広場の情報（スケジュール等）は、Cache-PAPAの会のホームページ (<http://cachepapa.web.fc2.com/>) で確認出来ます。



2011年8月イベントのお知らせ

※パパのしゃべり場は **2011年4月より、毎月1回第4土曜日**に行っています。予約不要、参加費無料です。

※お問い合わせは、Cache-PAPA 代表 田所まで。

8月27日(土) パパのしゃべり場 in CacheCache

時間：13時～15時

場所：八王子市親子つどいの広場 CacheCache

内容：未定

※詳細が決まり次第、Cache-PAPA ホームページ上でお知らせいたします。

※今号は、パパの育児 Q&A・パパの育児格言・カシュパパボイスは、お休みいたします。

※次号(9号)は、7月のパパのしゃべり場レポート・カシュパパボイス他。お楽しみに。

Cache-PAPA 通信 VOL..8～Cache-PAPA 1周年記念号～

発行日：2011年8月6日(土) 発行：Cache-PAPA 編集：Cache-PAPA 代表 田所 喬

写真/撮影：金子 裕一(Cache-PAPA)

Cache-PAPA ホームページ作成・管理：小國 薫(Cache-PAPA)

お問い合わせ連絡先： Cache-PAPA ホームページ <http://cachepapa.web.fc2.com/>

ブログ <http://ameblo.jp/cache-papa/>

いつもありがとうございます。Cache-PAPA より感謝の気持ちを込めて・・・

八王子市親子つどいの広場「CacheCache」/NPO 法人エンツリーの皆様